

令和8年6月

秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和8年6月25日(木) 午後1時30分
閉 会 : 令和8年6月25日(木) 午後2時40分
会 議 場 : 歴史文化伝承館5階第1会議室

出席委員 : 1番委員 浅海 純一
2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 :	教育長	前野 浩二
	事務局長	山越 達也
	事務局次長兼学校指導監	飯野 芳伸
	事務局次長兼教育総務課長	杉田 泰三
	学校教育課長	峯岸 克典
	保健給食課長	内海 典子
	文化財保護課長	伊藤 暁
	教育研究所長	佐藤 紀子
	市民部専門員兼生涯学習課長	内田 祥史

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和8年6月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、3番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和8年5月28日に開会された5月秩父市教育委員会定例会議事録の概要の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1)教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 6月3日は、台風6号の接近に伴い、前日に秩父市校長会と協議の上、市内21校全てを臨時休業とした。この日は秩父地域をはじめ県北部や西部地区など、県内外の多くの学校が臨時休業となったようである。秩父市では、校舎の雨漏りなど被害があった学校もあったが、人的・物的な大きな被害はなかった。今週末も台風7号及び8号の接近が予想されており、被害がないことを願う。また、東京都内の小学校の火災事案を受け、各学校の準備室や倉庫などで常時使っていない電気製品や電子機器等のコンセントを抜くこと、備品等の整理整頓、不要物の廃棄など、速やかに点検するよう、校長会議でお願いした。

次に、中学校の部活動について報告する。6月5日、6日に行われた全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会において、秩父第一中学校3年生の浅見さんは3年女子100m、女子200mで優勝し、全国大会参加標準記録を上回り、8月に山口県で行われる全日本中学校陸上競技選手権大会への出場権を獲得した。また、100m、200mでは関東大会の出場も確定しているようで、関東大会及び全国大会での活躍が期待される。そして、女子400mリレーでも、秩父第一中学校チームは第4位に入賞した。

また、先週から学校総合体育大会秩父地区予選会が行われており、

陸上競技は既に終了し、25日、26日は球技と武道の各競技が行われる。天候が心配されるが、室内競技は予定どおり開催される。相撲、新体操など、種目により7月4日まで続く予定である。3年生は、最後の大会となり、多くの学校で県大会への出場生徒を除き、1年生から一生懸命取り組んできた部活動も引退になる。今まで生徒を支えた各顧問や外部指導者の方々、保護者や地域の方々の応援に感謝する。県大会への出場権を得た生徒は、それぞれの目標に向かって、最後まで努力して欲しい。

1 番 委 員 : 2点、報告と意見を申し上げる。

1点目、5月30日に行われた南小学校の運動会についてである。天候にも恵まれ、日差しの暑さを感じる天気で、多くの来賓が参観していた。佐々島校長をはじめ、教職員全員が同じTシャツを着て、チーム学校として教育活動に取り組んでいる雰囲気を感じられた。PTA役員も先生を補助している場面が多々見受けられて、運営を支援していた。入場行進は、時間短縮のためか、優勝旗と応援団長など一部の代表児童のみが行進していたが、予め整列していた他の児童も優勝旗が入場してくると、緊張感で、開会式が良い雰囲気になっていった。開会式で印象に残ったのは、児童代表の言葉で、6年生の女子児童が挨拶をしたが、原稿を見ず、前を向いて話をしていた。話の中で冬季オリンピックの「りくりゅうペア」の話があったが、校長によると教員の指導は入っておらず、自ら考えた内容で素晴らしい挨拶であった。午前中のみの実施で、私は前半までしか参観できなかったが、学年種目が3種目行われ、今まで、私が運動会を見た中で、初めて見るユニークな種目が多くあった。1点気になったのが、5、6年生の学年種目で、数人がブルーシートを踏み、ジャンプして前に進むもので、これは物を大切にするという観点と土埃が舞ってしまうので、少し改善の必要があるのではないかと思った。プログラムを見ると今年から秩父音頭が復活したとのことで、踊っている姿を見ることはできなかったが、伝統文化の復活は、素晴らしいと思った。

2点目、意見として、東京都内の小学校の火災事案について申し上げる。洗濯物を干していたという報道もあったが、私が気になったのは、救助袋の使用についてである。設置されていたものの、使い方が分からなかったとのことである。救助袋については、私が勤務していた学校では、どの学校でも訓練の中で実施をしていた記憶がある。設置には時間がかかるので、使い方に慣れていないと、10数人、数10人の児童生徒をスムーズに避難させるのは時間的に厳しいと思った。今学期末に、避難訓練等が各学校で実施されると思うが、実際に設置されている学校の施設・設備が、非常時に活用されるよう、さまざまなケースを想定した訓練を実施していただきたい。

2 番 委 員 : 2点、報告と意見を申し上げる。

1点目、南小学校の運動会に参観した。多くの来賓や保護者が応援に駆けつけて、賑やかで活気ある運動会が開催された。よさこい踊りに加え、今年から秩父音頭も復活した。教育委員会内で、よさこい踊りを行うのに秩父音頭がないとは、いかがなものかという意見があったこともあり、佐々島校長も聞いていたと思う。秩父音頭は非常に上手くできて、よさこい踊りも含めて、学校の行事予定表等を見ると、運動会準備に時間をかけた成果が十分に伺えた。プログラムの途中で一斉に休憩時間が設けられ、全児童が教室に戻り給水等を行い、またグラウンドに戻ってきて、運動会が続行され、円滑なプログラム運営ができていた。また、PTA役員が教職員をフォローし、役員と教職員の連携が上手くいっていると思った。

2点目、6月18日、文部科学省の英語教育実施状況調査が発表された。政府は卒業時点で中学生が英検3級相当、高校生が英検準2級以上の英語力を有することを求めており、令和9年度までに中高生の6割以上が、この水準を超えることを目標に掲げている。昨年度で中学生の54.6%が3級を取得しているとのことであった。本市では中学生の英検3級取得状況がどうなっているのか、解れば教えていただきたい。それに加え、今回は教員の英語力も調査対象になっていた。中学校教員については、58.5%が準1級相当以上の英語力を有しているとの結果が示された。これは平成25年度の27.9%から大幅に向上しており、教員の努力が現場で成果を上げていることが分析結果として示されている。市内の中学校の英語教員の調査があるのかどうか、解れば教えていただきたい。

さいたま市は、7年連続で全国1位で小学校低学年の段階から、標準授業時数の倍ほどの授業時数をこなしている。中学生になるとディベートやイングリッシュキャンプが始まるなど、児童生徒の英語力向上のための事業展開をして、教員に対しても英語授業の研修などを行い、教科力を高めている。また、その中でALTも授業以外の学校行事など、ALTが積極的に活用されている。本市では、予算の関係上、ALTの全校配置などは、難しいかもしれないが、教育委員会が中心になって英検の講習をやっている。それを学校の方に移して、学校単位で努力をしていただき、授業以外でも、ALT含む英語教師に子ども達の英語力の向上について、少し頑張ってもらいたくないかと思っている。そこで、ALTの増員配置はなかなか難しいかもしれないが、ALTも週に1回2回ではなく、小学校低学年から時間を上手く取ったり、或いは他の学習時間を英語授業に割り当てていくとか、工夫をしていかないと都市部の学校と格差が広がっていくのではないか。例えば、まちの魅力も、さいたま市は、英語力向上で小中学校から頑張

っているので、子どもの教育を考えた時に、他の都市部よりさいたま市に移住した方が子ども達の教育を安心して、任せられるのではないかとということにも繋がっていく。秩父市も減少期に入って、住民確保のため、移住促進など努力しているが、教育の魅力、安心して子育てができて、学力保証ができるまちであることは、大切なポイントだと思う。市の教育大綱では、学力向上を最優先に謳っているのですが、英語教育についても、一度見直しを行い、学校現場で少し頑張ってもらえるような取り組みをお願いしたい。

- 3 番 委 員 : 先月、尾田蒔小学校で6年生対象の命の大切さを学ぶという、市立病院医師の栃村亮太先生による命の授業を拝聴してきた。これは、黒板に、自己紹介を書き、日直のところに先生の名前を書いて、子ども達が興味を示しやすい工夫がされていた。校長先生も難しかったかとも言ってたが、真剣に聞いていた。栃村先生が準備した感謝を伝える手紙を書く時間で、子ども達も数分のことだが、真剣に取り組んで、誰に渡すとか、何を書くというのを考えて、自分で命の大切さについて、考える時間を作ってもらったのではないかなと思う。つらい時に我慢しなくてもいい、つらい時は助けて、と言っていい。子どもからの質問で、心が壊れた時は、どうしたらというのもあり、誰かに相談し、抱え込まないで、良いんだということを教えてくださった。今不登校の子が増えたり、色々ある中でとても大切なことで、分からなくても、触れる機会が少しでもあるということは、どうしようと思った時に役に立つのではないかなと思った。家族、先生だけではなく、他にも相談するところがあるんだという子ども達への発信でよかったと思う。

東京都内の小学校の火災のニュースがあるが、火を使っていないところからの火災を想定した避難訓練や避難方法などの確認をしていただき、子ども達がケガなく避難できるように、先生方も確認をしていただきたいと思う。

- 4 番 委 員 : 2点報告する。

1点目、5月30日、南小学校の運動会を参観した。当日は青空が広がり、南小のグラウンドからは武甲山がよく見える恵まれた環境の中での運動会開催であった。校庭を有効に活用しながら、各競技が円滑に運営されており、学校全体の工夫が感じられた。応援団をはじめ、6年生の活躍が頼もしく、最高学年としての競技運営や下級生の支援などにも動いてる姿が見えて、随所でリーダーシップを発揮している様子に好感が持てた。また、徒競走では学年ごとの成長の様子がよく分かるコースの設置やプログラムの構成であり、応援する側からも見やすく、学年ごとの成長が伺えた。得点種目は、楽しい工夫を取り入れたものが多く、南小のキャラクター「ミナミン」を運ぶ競技があり、

公平性や効率性を保つような配慮がされ、楽しみながら終始活気に満ちた運動会であった。4月からの限られた練習期間だったと思うが、団結力と協調性が感じられ、教職員の指導が充実していると感じた。暑さが厳しかったので、暑さ対策や給水時間の配慮も新しい運動会の在り方の重要な要素であると思った。最後まで参観できなかったが、秩父音頭の復活は、見たかったと思う。

2点目、6月19日に秩父第一小学校を訪問した。広い校舎内は清潔に整えられて、落ち着いた学習環境の中で各学年の授業を拝見した。特に印象に残ったのは、3年生の音楽の授業である。児童一人一人が豊かな声量と美しい歌声で生き生きと歌っており、美しい発声方法で旋律に合わせて、表情豊かに表現する姿が見られた。担当教諭の温かく前向きな声かけと日頃からのトレーニングやリズムのとり方の指導なども随所に見られ、明るいい心が持てる授業であったと感じた。また、各学年を通して印象的であったのが、心の学習の充実である。心を言葉にする活動やネガティブな言葉を前向きな表現へと変換する言い換えマジック、ありがとうの花を咲かせようといった、お互いを尊重する関係性を作り上げる取り組みが、授業の中で実践されていた。自分や相手を大切にする心を育み、言葉を通してより良い人間関係を築く力を養う教育は、子ども達の豊かな人格形成や安心して学校生活を送るための基盤となり、大変意義深い取り組みであると感じた。

(2)事務局からの報告事項

事務局 長： 2点報告する。

1点目、7月4日(土)に市役所職員の防災訓練が行われる。教育委員の皆様にはご承知おきいただければと思う。

2点目、秩父市議会6月定例会の結果についてである。6月3日(水)に開会された秩父市議会6月定例会は、6月24日に22日間の会期をもって閉会となった。条例の一部改正、補正予算など付議された全ての議案が可決された。また、6月15日から17日までの3日間に行われた市政に対する一般質問では、12人の議員が登壇し、その内3人の議員から教育委員会に対する質問を受けた。主な答弁内容を配布したので、後ほどご覧いただければと思う。

学校指導 監： 3点報告する。

1点目、北部教育事務所の総務人事学事担当学校訪問についてである。6月1日に始まり9月17日までの間に、市内全校の訪問を実施する。校舎内外の巡視、諸表簿の点検、教職員の人事管理等について、説明を行い、各校の課題の改善に向け、指導助言をいただく。

2点目、市内小中学校の修学旅行についてである。小学校の修学旅行は、7校が無事終了した。秩父第一小学校と花の木小学校は、6月

に予定していたが、台風6号の影響で延期となった。花の木小学校は7月8日、9日、第一小学校は11月24日、25日に実施予定である。その他、10月に吉田小学校、11月に南小学校、12月に原谷小学校が実施予定である。また、中学校の修学旅行は、台風の上陸もあったが、全8校が無事に終了することができた。

3点目、中学校の学校総合体育大会秩父郡市予選会についてである。陸上競技、ソフトボール、水泳は、終了した。球技、武道については、25日、26日に実施されているが、雨天のため25日の屋外の種目で一部延期となっているものがある。野球などは、中止となり、週明けの月、火まで延期する可能性がある。新体操、相撲については、7月3日、4日に予定されている。

教育総務課長 : 学校施設に設置されている照明器具のLED化について報告する。体育館の水銀灯が令和3年から、また、蛍光灯が令和10年から製造、輸出入が禁止となることから、今年度から段階的に、照明器具をLED化する予定である。今年度は中学校全8校の校舎、体育館、敷地内の外灯などをリース方式によりLED化する。なお、小学校については、同様の方法で来年度実施する予定である。今年のリース契約の相手方は、株式会社NEXTYSという東京都内の業者で、今月18日に設置スケジュール等の協議を行った。なお、令和9年2月末日の設置完了を予定し、リース期間については、令和9年3月1日から令和19年2月28日までの10年間となる。そして、10年経過後は、市の所有になる契約である。照明器具の設置に際しては、休日など生徒のいない時間帯に作業を行う予定であるが、業者と事前に十分な協議を行い、安全対策を講じて実施していく。

学校教育課長 : 学童保育室について報告する。6月11日、18日に公立学童保育室の全指導員を対象に救急処置対応の研修会を開催し、2日間で約90人が参加した。秩父消防署管理指導課を中心に両日とも10名を超える消防署職員に協力いただいた。今年度は、昨年までと違いパワーポイント等の資料を一切使わず、実技にウエイトを置いた研修を行った。心肺停止の対応では、胸骨圧迫による心臓マッサージ、AEDの使用について学び、通報から救急車が到着するまでの時間は、早くても10分以上かかるので、通報を含め10分以上を想定した実践を繰り返して行った。複数人で速やかに間を空けず、一人1分を目標にリレー方式でマッサージを行ったが、ほとんどの指導員は、1分間のマッサージが2分3分以上に感じ、疲労感で一人での対応の難しさ、連携することの必要性を実感していた。また、後半では各学童から事前に提出のあった日々の救急に関する疑問について、答えていただいた。全指導員が、年1回救急研修を受けるが、万が一に備え、各学校ごとに定期的に振り返りを促すなど、引き続き児童の安心安全を第一に保

育を行っていく。

保健給食課長 : 6月17日(水)、歴史文化伝承館ホールにおいて、秩父地区学校保健会総会が開催された。この会は、学校における健康教育の充実と地区学校保健会相互の連携を図り、学校教育の円滑な実施に資することを目的として、秩父地域1市4町で構成されている。秩父市の前野教育長、小鹿野町の武藤教育長を参与として、会長は小鹿野町の横田内科・呼吸器科クリニックの横田先生である。会員は学校医、学校歯科医、学校長、学校薬剤師、指導主事、保健主事、養護教諭、教育委員会保健担当で構成されている。会の事業内容は、学校歯科保健コンクールの実施の他、学校保健に関する研修会など年間を通して開催している。また、学校保健会主催で7月23日(木)午後1時30分から3時30分、横瀬町町民会館ホールにおいて、健康教育講演会を開催予定である。講師は日本大学文理学部教育学科教授の西牧謙吾先生で、テーマは「不登校と健康」である。講演会参加希望があれば、保健給食課で取りまとめを行うので、申し出いただければと思う。入場は無料である。

文化財保護課長 : 2点報告する。

1点目、昨年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の整理作業を実施している。昨年7月から8月にかけて黒谷地内の「堤田(つつみだ)遺跡」について発掘調査を行い、今から5,000年から4,000年前の縄文時代中期の集落跡を検出した。遺構として住居跡1軒、土坑6基などが検出され、遺物として縄文土器の破片や石器、中世の古銭1点なども出土している。6月24日から、これら調査成果の整理作業を旧浦山歴史民俗資料館で開始した。現在は遺物の水洗いやどこから出土したかを遺物に注記する作業を行っているが、今後は土器の接合や復元作業なども実施していく。こうした作業を終え、今年度中に調査報告書を刊行予定である。

2点目、市内の小中学生を対象に夏休み文化財教室を開催する。これは、延べ2日間に渡り、縄文時代の生活を体験する教室である。1日目は、7月27日(月)に中宮地町のクラブハウス21で、土器作りを行う。2日目は、8月3日(月)午前に聖地公園グラウンドで1日目に作った土器の野焼きと火おこし体験の他、縄文時代に行われていた麻紐を用いた編み物「アンギン編み」の体験などを実施する。なお、参加申込は7月21日から電話で受け付ける。募集定員は児童30人である。

教育研究所長 : 第1回教育相談並びにスクールソーシャルワーカー学校訪問について報告する。この訪問は、児童生徒の欠席状況や不登校、非行問題、高度保護者対応等の諸問題に関する情報交換対応策を中心に、学校経営全般について協議する場として、年2回すべての小中学校を訪問し

ている。不登校の状況については教育委員会でも喫緊の課題ととらえ、この訪問をきっかけに学校と教育相談室の連携が深まり、丁寧な対応対策を行うことができるものと期待している。1巡目の訪問は、5月8日から29日までの期間で6日間実施し、21校全ての小中学校を訪問した。研究所指導主事、教育相談員、県費負担スクールソーシャルワーカーの3名で訪問し、学校の管理職、生徒指導、教育相談担当、さわか相談員から昨年度の欠席状況や年度当初の出欠状況、不登校等課題を抱える児童生徒の現状、校内教育支援センターの活用状況等を伺っている。訪問を終え、学校区により状況はさまざまであるが、兄弟間で不登校が連鎖していることやSNSが児童生徒間トラブルの発端となることが、傾向として見られた。また、スマホゲーム等を夜遅くまでやることにより、生活リズムが乱れることが、原因で不登校につながる傾向も伺った。スクールソーシャルワーカー及び教育相談員が、各学校の課題改善に向けた助言を行うとともに、引き続きスクールソーシャルワーカー及び教育相談員の利活用を促した。このような機会を通して情報を共有し、今後、学校、教育研究所、教育相談室及びに関係機関が連携し、登校不安を抱える児童生徒への支援に繋がるよう取り組んでいきたいと考えている。2巡目の訪問は、2学期に予定している。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

【質疑・応答】

教 育 長 : 英語教育の関係で何かこの場で答えられることはあるか。

学 校 指 導 監 : 2番委員からの英語教育の関係である。秩父市の英検3級以上の生徒は、53.2%である。秩父市でも「夜べん」で英検に向けた勉強をする子どもが非常に増えてきている。また、英会話教室等、積極的にALTと会話ができる機会も与えているが、参加者がいない現状である。イングリッシュフェスタも行い、英語好きな子どもを増やしていく取り組みをしている。英語教育は、小学校段階からもう少し充実させていく必要があるということでは、英語活動、その後の5、6年生の英語科、これを上手く繋げて英語好きな子どもを育てて、中学校へ進学していくことで、中学校の英語がうまく連携していくことによって、学力も高まっていくよう、秩父市としても力を入れているが、見直しが必要な部分もあると思う。教育委員会内で検討し、また改善が図れるところはしていきたい。

教員の準1級以上の取得割合は、27%であるが、今英語教員を目指して教職課程の学生は、準1級以上を目指している学生が多いと思

う。若い先生は比較的取得してきているが、年齢の高い先生は、準1級の取得率が上がっていない。英語教員の指導力がないことには、学力は高まらない。実際、秩父市で英語力のある教員が学力を上げた実例もあるので、教員の指導力向上に向けても、尽力していきたい。

6 議案審議

- 教 育 長 : 議案第15号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。
- 生涯学習課長 : 議案第15号「秩父市社会教育委員の委嘱」についての提案理由及び説明を述べる。
- 教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。
- (「異議なし」という声あり)
- 異議なしと認め、議案第15号は、原案どおり可決した。
- 議案第16号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。
- 文化財保護課長 : 議案第16号「文化財の指定解除及び指定名称の変更」についての提案理由及び説明を述べる。
- 教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。
- (「異議なし」という声あり)
- 異議なしと認め、議案第16号は、原案どおり可決した。
- 議案第17号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。
- 学校教育課長 : 議案第17号「秩父市いじめ問題専門委員会委員の委嘱」についての提案理由及び説明を述べる。
- 教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。
- (「異議なし」という声あり)
- 異議なしと認め、議案第17号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

- 教 育 長 : 後援等について、説明を求める。
- 教育総務課長 : 別紙のとおり、10件の協議をお願いする。
- 教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することではいかか。
- (「異議なし」という声あり)
- それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 7月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 7月教育委員会定例会について、7月29日(水)午後1時30分から歴史文化伝承館5階第1会議室において開催することを御提案させていただきます。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、7月教育委員会定例会については、7月29日(水)午後1時30分から、歴史文化伝承館5階第1会議室にて開催する。

8 その他

事 務 局 : 10月6日(火)に秩父地区教育委員会連合会管内視察研修が長瀬町で予定されている。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会6月定例会を閉会する。